



タイム



学校だより No.9
令和6年9月2日
文責 日高 智明

【教育目標】 確かな学力と豊かな心をもち たくましく生きぬく児童の育成
～夢と希望をもち よく学ぶ春日の子～

【今年度の合言葉】 「感動～感じて動く～」

学校 HP



2学期始業式

長い夏休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。休み中、大きな事故もなく過ごさせていただいてありがとうございました。

始業式では、1学期の振り返りをもとに考えた2学期にがんばっていきたいことを話しました。その内容を紹介します。(一部抜粋)

おはようございます。夏休みは、楽しく過ごすことができましたか？ 休み中大きな事故もなく、今日登校してきてくれてホッとしています。ありがとう。

今年の春日小学校の合言葉は、「感動～感じて動く」です。そのために、「まわりをよく見よう」と「失敗の先にあるチャンスをつかみにいこう」の2つをがんばっています。1学期の終業式の時に、それぞれ振り返りをしてもらいましたが、2学期はさらに成長していきたいと思っています。

まず「まわりをよく見よう」についてです。夏休み中にオリンピックを観た人も多いと思いますが、選手のがんばりに影響を受けて何か始めた人もいるかもしれません。それは、感じて動いているまさに感動ですね。勉強でもスポーツでも自分だけにするより、まわりの人のことをよく見て自分に生かしていくことは大切です。普段の学習の中で、お友達の意見を聞いて「なるほど」と思うこともあると思います。多くのお友達の意見を聞くと、「なるほど」をたくさんもらえて自分の考えが深まったり広まったりして自信をもつことができます。そのために教えてもらうことを待つより、「ああじゃない。こうじゃない。」と相談しながら自分たちで活動を進めていってほしいと思っています。これは校長先生自身の経験ですが、自分たちで進めた活動については、今でも覚えていることが多く、その後にも役立ったと思うことも多いです。そして、何より友達と相談しながら進める時間がとても楽しかったです。みんなにも、自分たちで進める経験をたくさんして、学ぶ楽しさを味わってほしいです。

次に「失敗の先にあるチャンスをつかみにいこう」についてです。オリンピックは、4年に1度あります。選手のみなさんは、4年間さまざまなことを試してオリンピックに臨みます。当然、失敗することもあります。その失敗を次に生かしていきます。そうやって、自分ができることを少しずつ増やしていくそうです。でも、オリンピックで自分の力を全て出すことは難しく、失敗してしまうこともあります。いくらオリンピックに出るような選手でも、失敗をすれば落ち込むこともあります。そんな時に励みになるのは、まわりの人のアドバイスや応援です。今回のオリンピックでも、試合に負けてしまった選手に対して、失敗を責めるような言葉が聞かれたようです。

失敗を責められれば、また失敗して責められるのではないかと不安になってしまいます。それでは、次のチャレンジができず、失敗の先にあるチャンスをつかむことはできません。チャレンジしたことをほめて、お互いのよさを認め合えれば、失敗をおそれずにチャレンジして、失敗の先にあるチャンスをつかみにいくことができます。そうやって、みんなで伸びていく春日っ子になってほしいと思っています。

夏休みが終わって、残念に思う気持ちもあって当然ですが、2学期は、みんなが大きく成長する大切な時間です。しっかり気持ちを切り替えて、みんなで一緒に伸びていくやる気いっぱい2学期にしていきましょう。

8500件のメッセージ

IOCの発表によると、パリオリンピックで選手へ宛てられたSNSによる誹謗中傷のメッセージが8500件あったということです。応援していた選手が、自分の期待通りの結果を残せなかったことへの残念さなど様々な思いをもつことはありますが、この状況をみなさんはどのように感じられますか。私もオリンピックを観ながら一喜一憂した者の一人で残念さを感じた結果もありましたが、残念さよりも真剣に競技に取り組んでいる選手の姿を観られた喜びの方が大きかったように思います。

SNSでは、相手と対峙しているわけではないので、乱暴な言葉を発しやすく誹謗中傷へのハードルが低くなりやすいと言われます。でも、言われる側の心の痛みは直接ではないからと言って減るわけではありません。オリンピックに限らず、様々なスポーツ選手への誹謗中傷に対して、社会問題となり対処しようとする動きも見られます。SNSは便利なものですが、使い方を間違うと人を深く傷つけてしまったり、自分自身も傷ついたりする結果にもなります。

近頃、世間では子供たちの間でSNSが原因でトラブルにつながっている事例が多く伝えられています。小学生は、直接話していても十分に伝わっておらず勘違いをすることが少なくありません。本校の学力調査の結果では、全体的な傾向として「書くこと」と「読むこと」に課題が見られます。お互いの意図が十分に伝わらず、トラブルにつながる危険性もあると考えられます。学校では情報モラルについて指導していますが、実際にSNSなどを利用するのは学校外なので守れているかどうか確認することが難しいです。子供たちがネットを利用する時は、ルールづくりときちんと守れているかの確認をすることが子供たちを守ることになります。子供たちが正しいネット利用ができるようにしていきたいと思っています。

【がんばりました】

○第44回九州ブロックスポーツ少年団ソフトボール交流大会

優勝 春日小ジュニア

○第29回宮小ジュニア杯

第3位 坂の上ソフトボールクラブ